

令和元年度 荒川中学校の教育全体構想【グランドデザイン】

目指す学校像 〈 笑顔とハートのある学校 〉

教育目標：めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう

- ◇生徒の願い
- ◇保護者の願い
- ◇地域の願い
- ◇職員の願い

目指す生徒像

- ・将来を見据え、意欲を持って、積極的に学習に取り組む生徒
- ・主体的に問題を捉え、自ら考え、他者と関わりながら最後まで取り組む生徒

- ◇新学習指導要領
- ◇村上市教育基本計画Ⅱ
- ◇県学校教育の重点

年度の重点目標

- 社会性の育成
- 確かな学力の向上
- 健康な体づくり
- 特別支援教育(適応指導)の充実

確かな学力の向上


★ 目標
学習意欲を高め、基礎・基本の定着と自ら考える力の育成を図る。

★ 取組

- 荒川4段階方式のアクティブ化とレベルアップ
「学習意欲」「表現力」「活用力」「基礎・基本」
- 授業規律・基礎力の徹底
「5原則」「聴き方・話し方」「立腰」
- 家庭学習習慣の定着
○予習・復習の定着(分かるからできるへ)
○学習のすすめと宿題と自学
- 個別支援の進展(少人数指導・サポートルーム)
- 学習会の実施(長期休業中、定期テスト前)

★ 評価

- 生徒アンケートで、教科の「授業が好き」と答える生徒を、昨年度より向上させる。
- 生徒アンケートで、「自分の考えを發表できる」の項目で肯定的評価を向上させる。



社会性の育成

★ 目標 〈3つの力を身に付ける〉


- 人間関係づくりの力
- 自分を理解し、主体的に行動する力
- 課題を見つけ、協力しながら解決する力

★ 取組

- 荒川っ子プラン(新鳥っ子プランの自校版)の活用
「生徒の持てる力を信じ、なすことによって学びせ、自らの育ちを実感させる体験活動を通して」
○体育祭や青雲祭などの行事
○自然体験、職場訪問、職場体験、修学旅行(職場訪問等)
○さくらつつみウォーク、清流荒川クリーン作戦
○地域クリーン作戦、福祉ボランティア活動(学年・部活)
- 支持的、支援的な学級づくり(QU検査の実施)
- 教育相談、キャリア・イン等の個別支援の充実
- 道徳の時間の一斉公開授業、人権、同和教育の公開授業

★ 評価

- hyper-QUにおいて、配慮のスキル35以上、関わりのスキル32以上となる。
- 生徒アンケートNo.2の1~3「よいところがある」「将来の希望がある」「役割を果たしている」の肯定的評価を向上させる。



特別支援教育(適応指導)の充実

★ 目標

- 持てる力とニーズを生かし、一人一人の力を確実に伸ばす。
- 特別支援教育(適応指導)の啓発と情報発信を推進する。

★ 取組

- 特別支援教育(適応指導)の研修会の実施
- 特別な支援が必要な生徒の理解と個々に応じた適切な対応
○面談や各種調査・検査に基づく「個別の」教育支援計画
「個別の指導計画」の作成と共有
○スクリーニングの実施と対応の協議
- 全校体制によるユニバーサルデザイン教育の推進
UDLの実施

★ 評価

- 特別支援学級・適応指導教室の担当者をはじめ、全職員が指導方針、指導内容、評価を共有している。(チーム支援)
- 特別支援教育(適応指導)の理解を深める

健康な体づくり

★ 目標


- 健康な体と体力の向上。
- 睡眠を中心とした規則正しい生活習慣の確立。

★ 取組

- 体育の授業でのチャイム学習(補強運動)
- 健康講話・応急手当講習・薬物乱用防止教室・歯の健康講話
- 授業、セルフモニタリングシートを活用した生活習慣改善指導
- 音活動の奨励と運動環境整備

★ 評価

- 2回目の体力テストにおいて課題となっていた種目の向上がある。
- 生活習慣の改善に取り組んだ生徒を増やす。



- ◇教職員の指導力の向上
- 校内研修の充実(研究授業、若手研修会等の充実)
 - 各種研修会への参加(町、県主催の研修会)

- ◇生徒理解の推進
- 校内指導会議での情報共有
 - 生活アンケートの実施

- ◇学校教育活動の評価・改善
- 保護者・地域へのアンケートの実施
 - 全職員による教育活動の検討
 - 実績および改善策の公表・外部評価の活用

保護者・地域と一体となった教育活動

- 幼保小中連携
- 学校評議員会
- 郷育会議・郷育推進委員会
- PTA
- 学校関係者評価委員会
- 部活動評価委員会
- ホームページ
- 学校だより
- 地域コーディネーター
- 学習ボランティア